

# 転出入者アンケート調査

「平成 18 年度人口移動実態調査」集計結果

## 1 . 調査の概要

### (1) 調査対象及び調査方法

調査対象・調査時期

平成 18 年 7 月～10 月の間に尼崎市役所及びサービスセンターの窓口で住民票の異動手続きをした  
転入者 800 名、転出者 1,200 名。

調査方法

窓口配布、郵送回収

配布先

市役所本庁

阪神尼崎サービスセンター

J R 尼崎サービスセンター

阪急塚口サービスセンター

### (2) アンケート調査項目

今回の 2 調査は対象によって設問や選択肢の違いがあるが、概ね次のような設問項目とした。

#### ・ 回答者・世帯のプロフィール

性別、年齢、転居前後の家族構成、転居前後の住所、勤務先、世帯収入  
市内居住年数（または市内居住経験、認知度）

#### ・ 転居前後の住宅事情

転居前後の住宅の所有関係、居住室の広さ、購入価格・家賃など

#### ・ 転居の理由等

意見優先者、最大のきっかけ、市内外の比較

現在の地域を選んだ理由（または尼崎市の不満な点・魅力のある点）

尼崎市への定住意向（または回帰意向）、満足度、今後のまちづくりへの期待

### (3) アンケートの配布・回収状況

配布・回収の状況は下表のとおりである。

表 配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率
転入者アンケート	800	136	17.0%
転出者アンケート	1,200	231	19.3%

## 2. 調査結果の分析

ここでは、転入者アンケートと転出者アンケートの2つの調査結果について、共通する設問を対比しながら分析を行う。

### (1) 回答者・世帯の属性

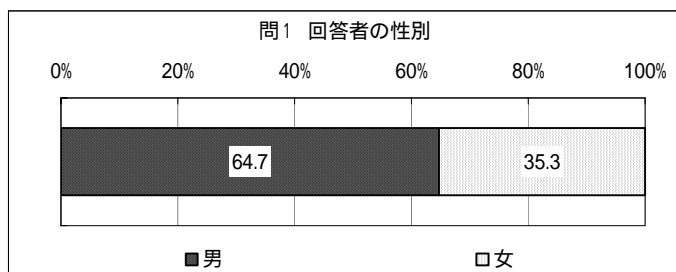
#### 性別・年齢

- 男女比は若干男性が多い、30代と20代が中心だが転入者より転出者の方が年齢高め

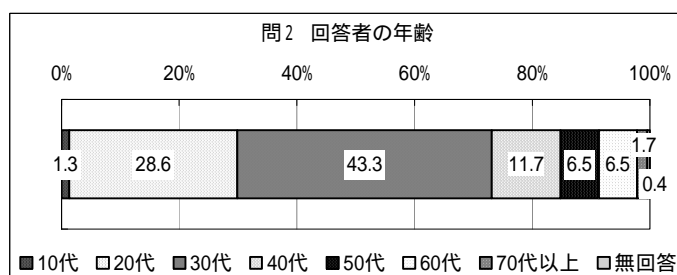
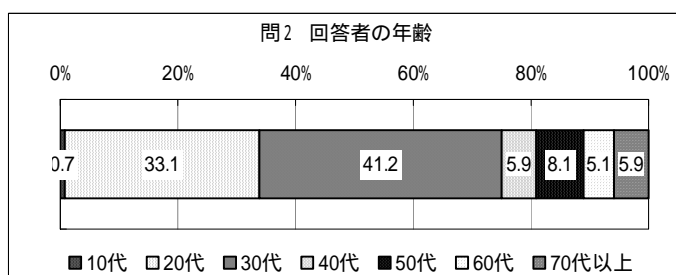
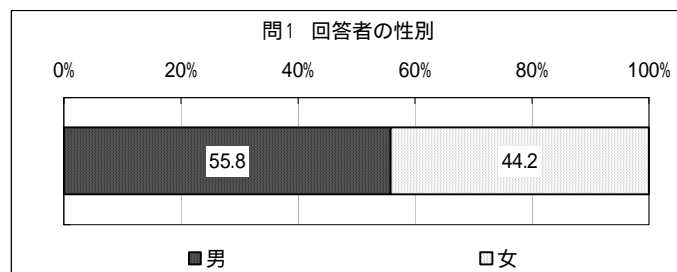
回答者の性別は転入・転出いずれも男性の方が若干割合が高い。

年齢別にみると、転入者は「30代」が最も多く41%であり、「20代」の33%と合わせて4分の3は20～30代が占めている。一方、転出者は「30代」が最も多く43%であるが、「20代」は29%、「40代」が12%であり、転入者より若干年齢層が高めである。

#### <転入者アンケート>



#### <転出者アンケート>



#### 家族構成

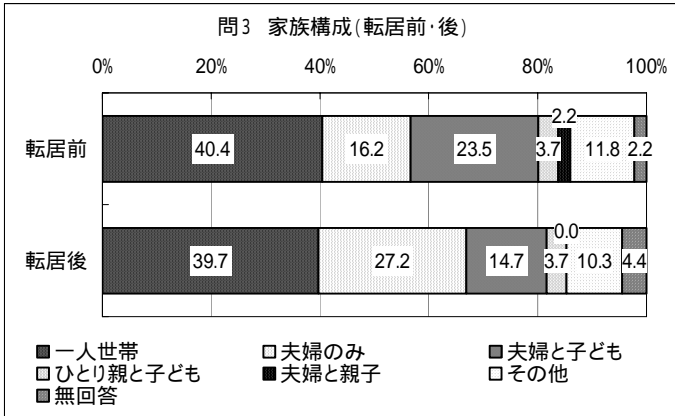
- 転入は一人世帯が中心、子どものいる世帯では就学前の子どもの多い
- 転出で子どものいる世帯は小学生を持つ家庭の割合が転入より高い

転入の転居後の家族構成は「一人世帯」が最も多く4割となっている。また、転居前後で比較すると、転居後に「夫婦のみ」が1割増加しているのが特徴的である。これらは昨年と同様の傾向を表している。

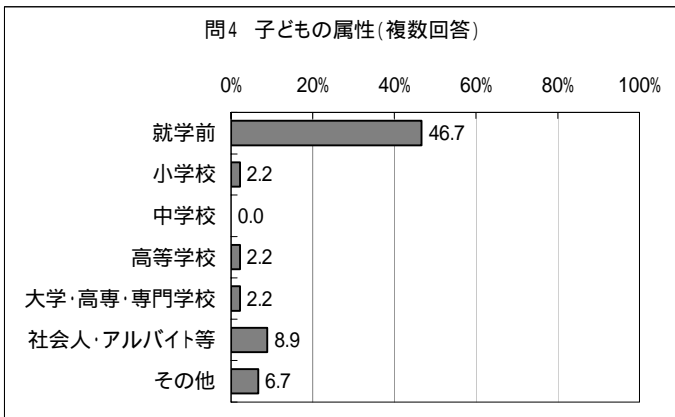
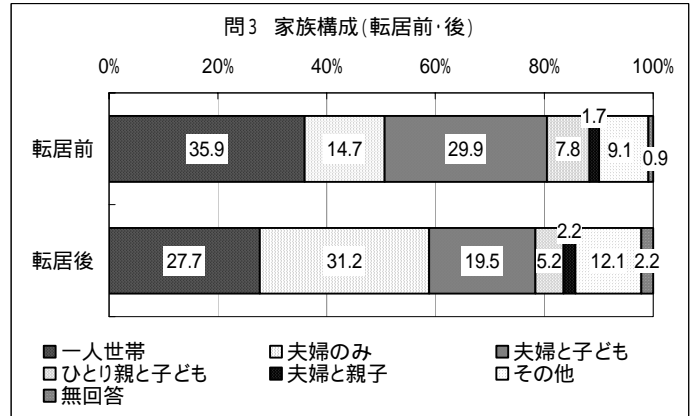
転出の家族構成については、転居後に「一人世帯」が減り、「夫婦のみ」が増えているのは昨年と同様であるが、「夫婦と子ども」世帯が減少している点は異なる。

子どものいる世帯に対して、その属性を尋ねたところ、転入では「就学前」が最も多く47%、転出では「就学前」が37%で最も多いものの、「小学校」も14%となっており、転入との違いが大きい。

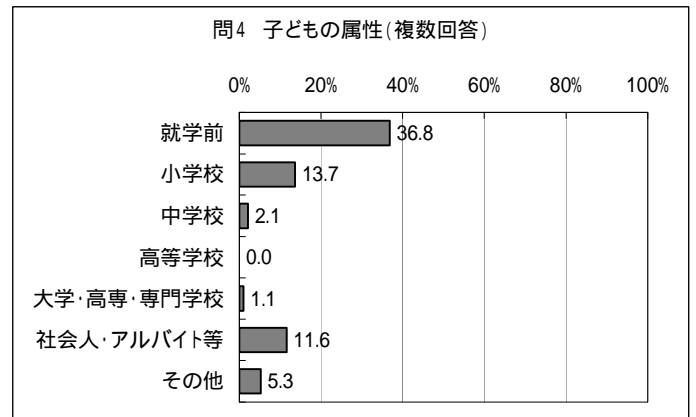
< 転入者アンケート >



< 転出者アンケート >



注: 「一人世帯」と「夫婦のみ」を除く 45 世帯を母数とする



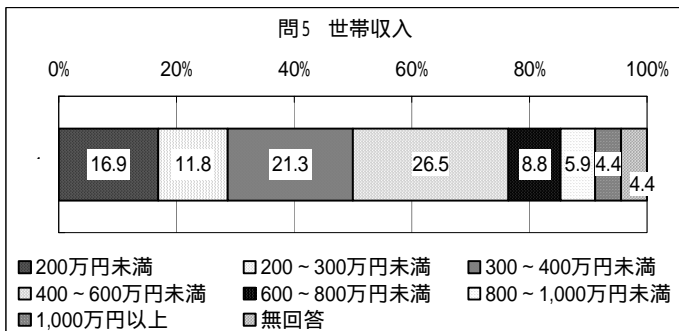
注: 「一人世帯」と「夫婦のみ」を除く 95 世帯を母数とする

世帯収入

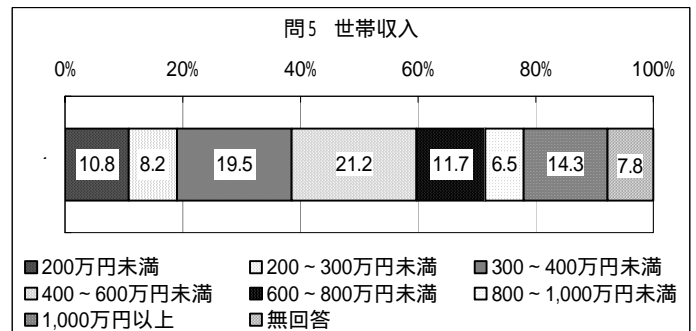
- 400～600万円未満が最も多い

転入・転出ともに世帯収入は「400～600万円未満」が最も多く、それぞれ 27%、21%となっている。次いで「300～400万円未満」がそれぞれ 21%、20%である。次に多い層は、転出は「1,000万円以上」が 14%、転入では「200万円未満」が 17%となっている。

< 転入者アンケート >



< 転出者アンケート >



転入・転出地域、居住年数（転出）

- 大阪市からの転入、西宮市への転出が多いほか、首都圏からの転出入も比較的多い

転入では、大阪市や西宮市などの近隣市が多いほか、主に転勤の理由によって首都圏からも比較的多く転入してきている。転出においても同様の傾向にあるが、兵庫県内の阪神地域への移動が多い。

転出の場合、尼崎市での居住年数は「5年未満」が4割を占め、短年での移動が特徴的である。

< 転入者アンケート >

問6 前住所

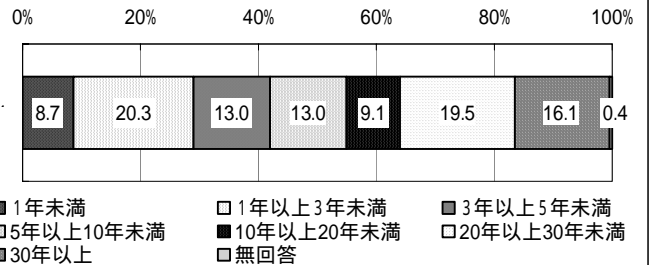
転入上位5県		内訳: 主な市町村	
大阪府	46 33.8	大阪市	26 19.1
		堺市	3 2.2
兵庫県	38 27.9	西宮市	13 9.6
		神戸市	6 4.4
		伊丹市	4 2.9
		川西市	3 2.2
		宝塚市	3 2.2
千葉県	8 5.9	市川市	3 2.2
東京都	7 5.1		
神奈川県	4 2.9		

< 転出者アンケート >

問6 現住所

転出上位10県		内訳: 主な市町村	
兵庫県	84 36.4	西宮市	30 13.0
		神戸市	16 6.96
		伊丹市	15 6.52
		宝塚市	8 3.48
		川西市	5 2.17
大阪府	44 19.0	大阪市	18 7.8
		豊中市	4 1.7
東京都	15 6.5		
神奈川県	13 5.6	横浜市	10 4.3
愛知県	10 4.3	名古屋市	6 2.6
岡山県	6 2.6		
京都府	5 2.2	京都市	4 1.7
千葉県	5 2.2		
埼玉県	4 1.7		
福岡県	4 1.7		

問7 尼崎市での居住年数



勤務先

- 大阪市が最も多いが、次いで尼崎市が多く職住近接志向

転入・転出ともに勤務先は「大阪市」が最も多く、それぞれ3割、2割となっている。転入では「尼崎市」を勤務先とする人が25%であり、職住近接志向が表れている。

< 転入者アンケート >

問7 勤務先(転居後)

上位4市町村	
大阪市	41 30.1
尼崎市	35 25.7
神戸市	6 4.4
西宮市	4 2.9

< 転出者アンケート >

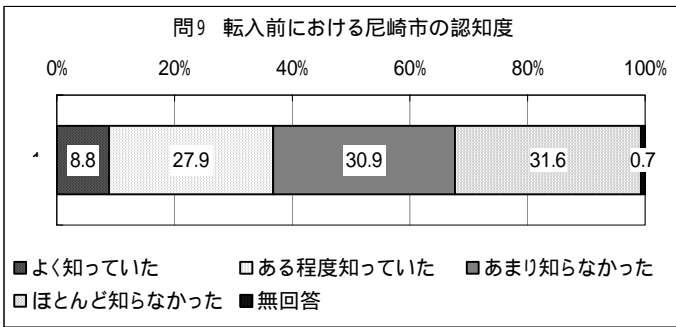
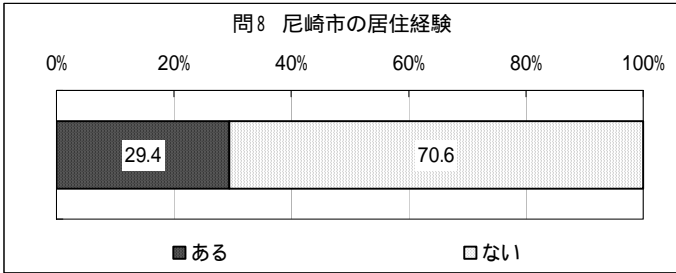
問8 勤務先(転居後)

転出上位6県		内訳: 主な市町村	
大阪府	57 24.7	大阪市	47 20.3
兵庫県	50 21.6	尼崎市	26 11.3
		神戸市	10 4.3
		西宮市	5 2.2
		伊丹市	4 1.7
東京都	24 10.4	中央区	3 1.3
愛知県	8 3.5	名古屋市	4 1.7
岡山県	4 1.7		
神奈川県	4 1.7		

尼崎居住経験、転入前の尼崎認知度（転入）

- 3割は居住経験者だが、6割は転入前に尼崎のことをよく知らなかった

転入の3割が尼崎の居住経験者であり、転入前における尼崎の認知度は4割弱が「よく知っていた」あるいは「ある程度知っていた」と回答している。また、尼崎での居住未経験者が7割であることから、転入者のうち過去に居住経験が無い人の多くは、尼崎のことを「あまり知らなかった」か「ほとんど知らなかった」層といえる。



## (2) 転居前後の住宅事情

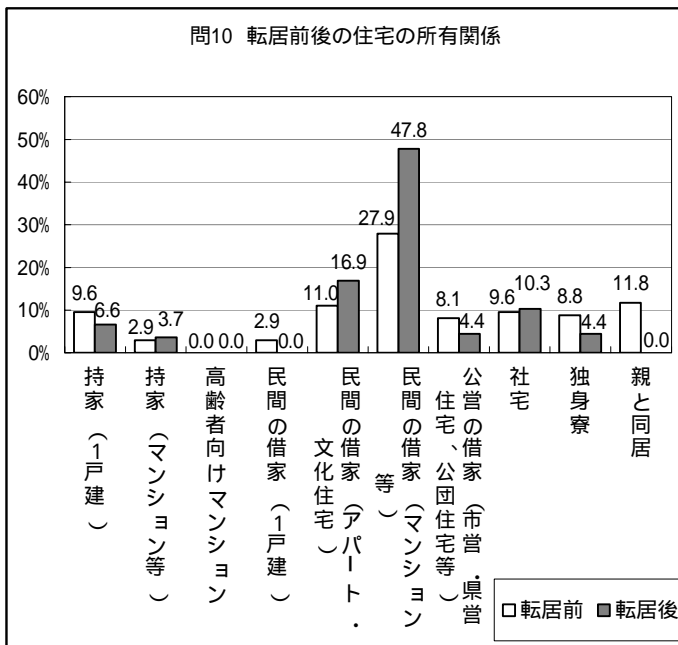
### 住宅の所有関係、居住室の広さ

- 転入は転居後に民間のマンション等借家住まいが最も多く5割弱
- 転出は転居後に持家率が高くなる

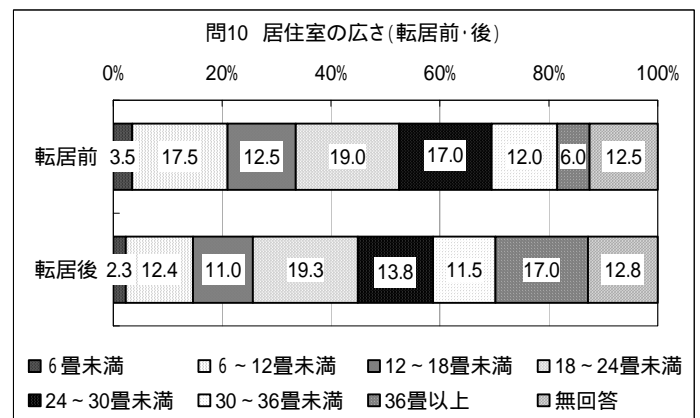
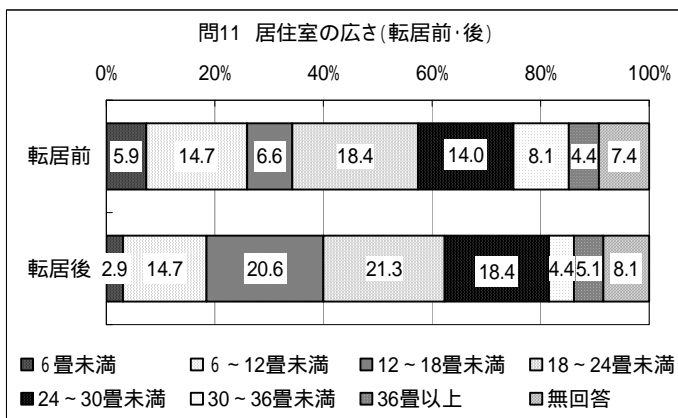
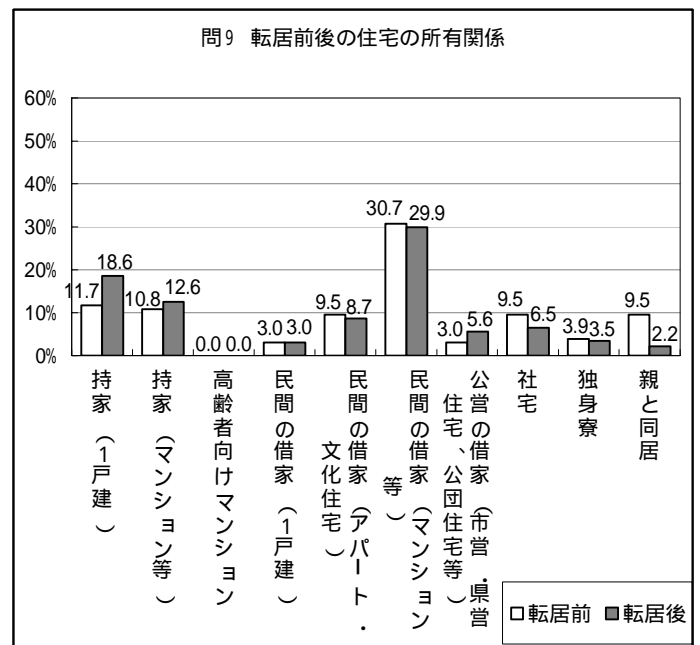
昨年の調査と同様に、転入は、転居前に比べて「民間の借家（マンション等）」の割合が極めて高く48%となっている。また、「親と同居」の割合が転居前後で大きく減少する点が特徴的である。転入は夫婦世帯の割合が高まることもあり、居住室の広さは「18～24畳未満」や「12～18畳未満」が転居前に比べて増えている。

転出は、転居前に比べて持家率が1割ほど高くなり、それに応じて居住室の広さも「36畳以上」が17%に増加している。

<転入者アンケート>



<転出者アンケート>

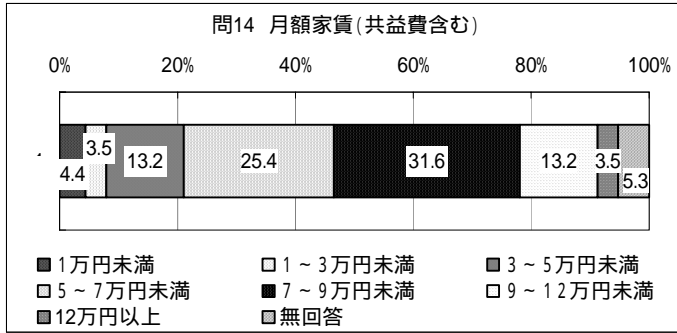


## 住宅の家賃

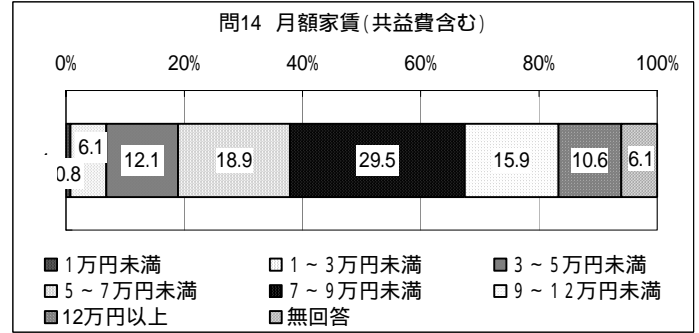
- 月額家賃は転入・転出とも7～9万円未満が最も多い

月額家賃をみると、転入は「7～9万円未満」が最も多く32%、次いで「5～7万円未満」が25%となっている。転出も「7～9万円未満」が30%、「5～7万円未満」が19%の順であるが、転入と比べて「12万円以上」や「9～12万円未満」の高額な物件を借りている割合が高い。

### <転入者アンケート>



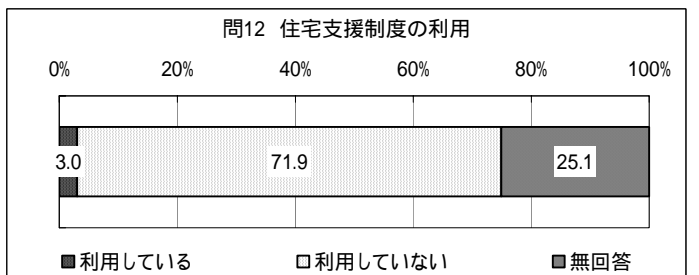
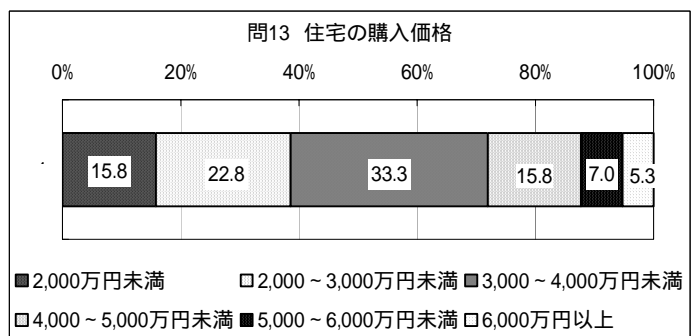
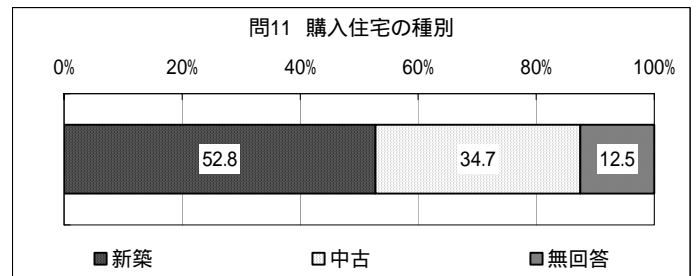
### <転出者アンケート>



## 購入住宅の種別・価格、制度利用(転出)

- 購入価格は「3,000～4,000万円未満」が中心

転出で住宅を購入した層に、新築・中古の区別と購入価格、住宅支援制度利用の有無をたずねたところ、「新築」は53%、「中古」は35%であり、購入価格は「3,000～4,000万円未満」が最も多く33%となっている。また、住宅支援制度を「利用している」と回答したのは3%であった。



注：転入の購入住宅に関するデータは母数が

14世帯と少ないため省略

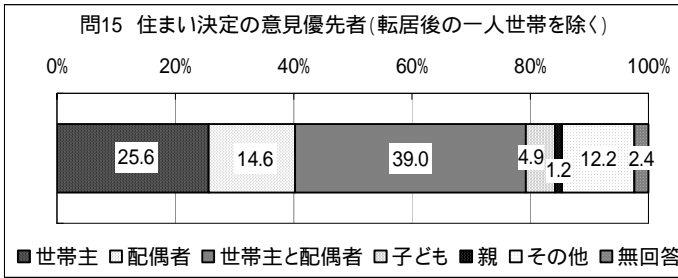
### (3) 転居の理由等

#### 意見優先者

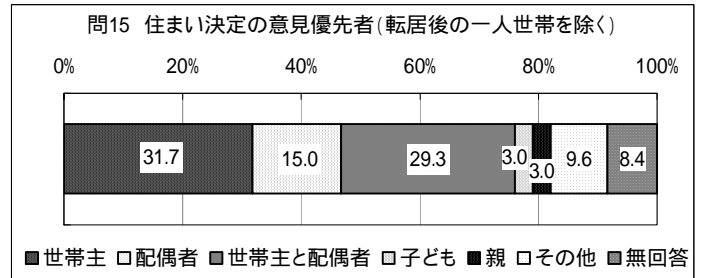
- 世帯主と配偶者の話し合いにより転居先を決める世帯が多い

一人世帯を除いて、住まい決定の意見優先者をたずねたところ、昨年の調査と同様に「世帯主と配偶者」の両方の意見が優先される場合が多かった。ただし、転出については「世帯主」の意見が優先されるという回答の方が今回は若干上回っている。

#### <転入者アンケート>



#### <転出者アンケート>

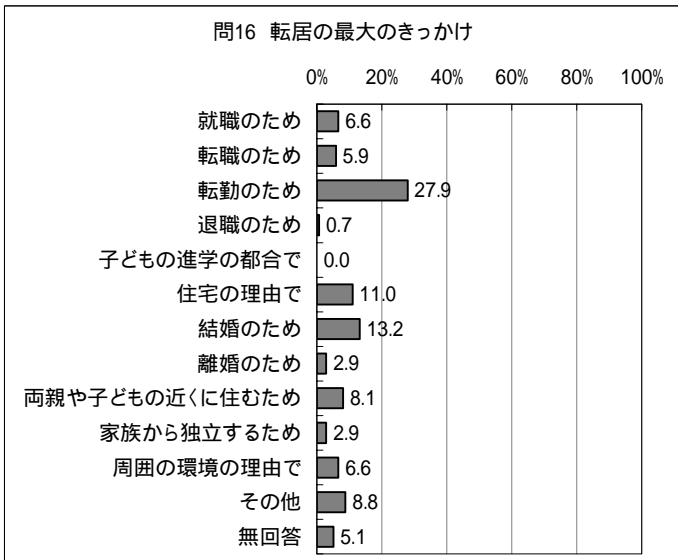


#### 転居の最大のきっかけ

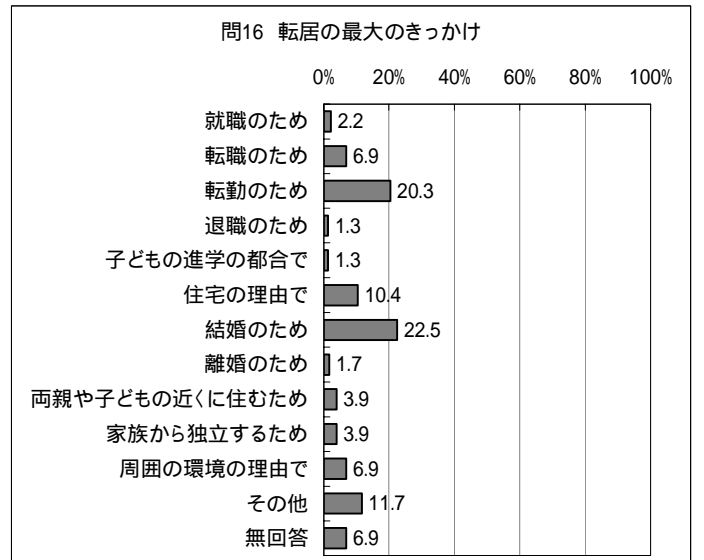
- 転入・転出とも「仕事(就職・転職・転勤)」が最も多い

転居の最大のきっかけは、転入・転出とも「仕事(就職・転職・転勤)」に関するものが最も多く、それぞれ4割、3割となっている。次いで「結婚」がそれぞれ13%、23%と続いている。

#### <転入者アンケート>



#### <転出者アンケート>

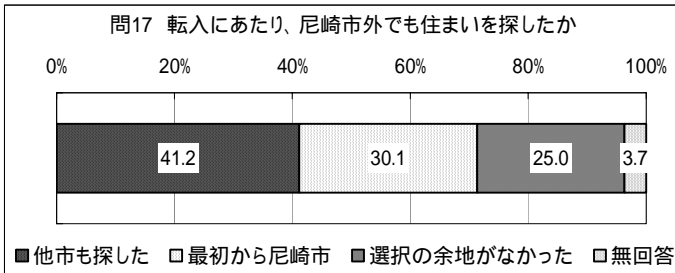




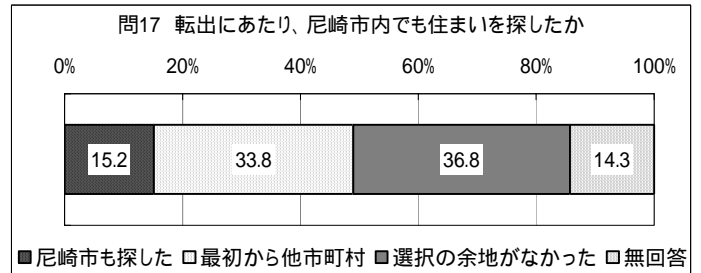
## 尼崎市内へのこだわり

● 転入では3割が初めから尼崎市を希望、転出では15%が尼崎市内も探したが結果的に転出  
 この回答結果も昨年と概ね同様の傾向を示しており、転入では3割が「最初から尼崎市」を選んで転入し、4割が「他市も探して」結果として尼崎に転入してきている。一方、転出では選択の余地があった無回答を除く5割のうち、15%が「尼崎市も探した」のに結果的に転出してしまっている。

### <転入者アンケート>

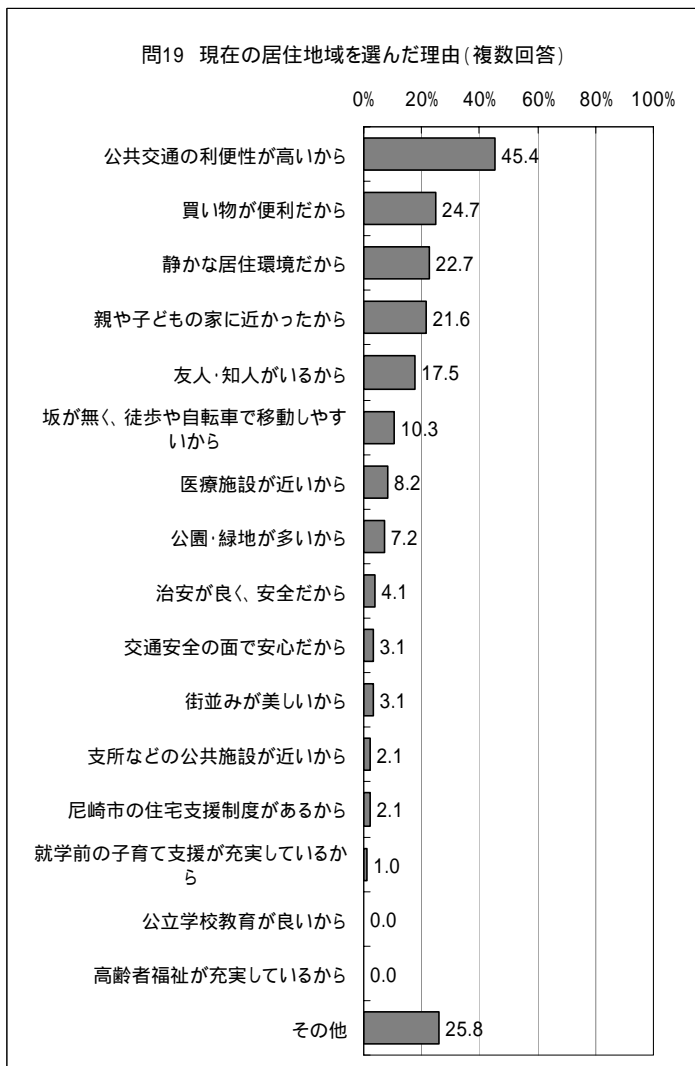


### <転出者アンケート>



## 尼崎市を選んだ理由（転入）

- 交通や買い物の利便性、静かな居住環境、近居や友人関係が主な理由



転入にあたって、現在の居住地域を選んだ理由として最も多いのは「公共交通の利便性」が45%、次いで「買い物が便利だから」が25%であり、いずれも利便性の高さで、従来から評価の高い項目である。

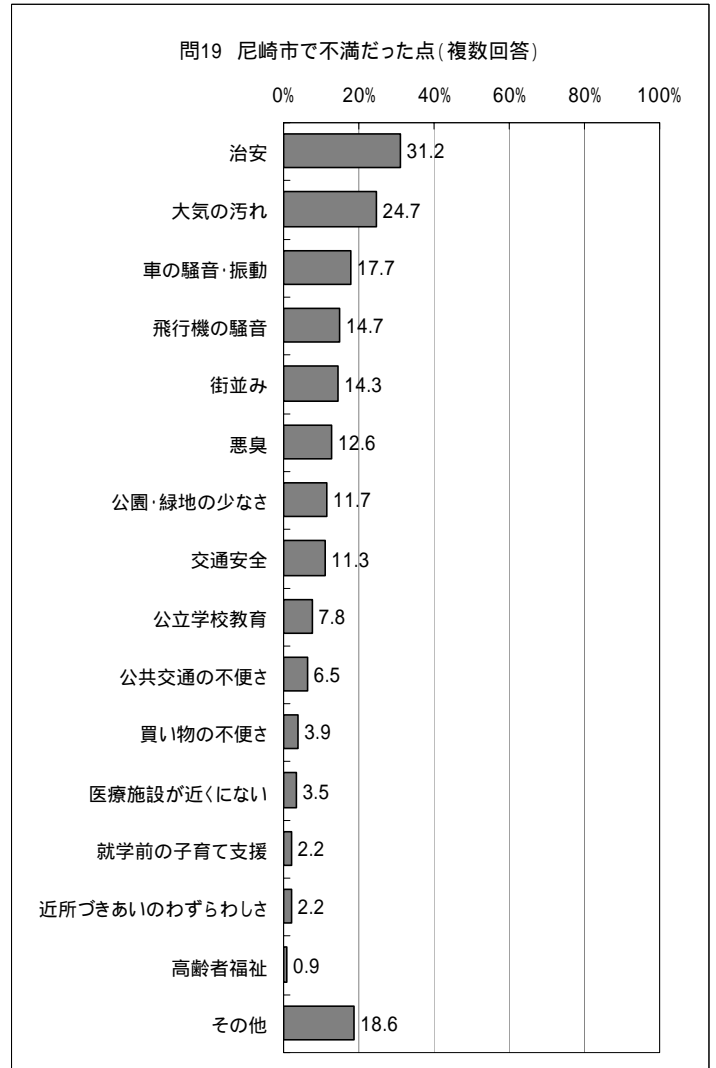
その他、「静かな居住環境だから」が23%であり、市全体ではなく、居住地域に限定すれば環境の評価も高い。

また、「親や子どもの家に近かったから」22%や「友人・知人がいるから」18%のように、近居や友人関係も大きな要因となっている。

尼崎市で不満だった点（転出）

- 最も多いのは治安で 31%、大気の汚れは 25% で 2 番目に多い

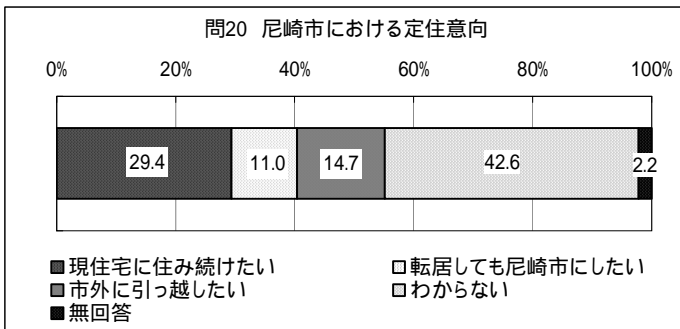
尼崎市に住んでいて不満だった点として「治安」が 31% で最も高く、次いで「大気の汚れ」が 25% と続いている。その他、「車の騒音・振動」や「飛行機の騒音」「街並み」などとなっている。



定住意向（転入）

- 転入では 4 割が定住意向

昨年の調査以上に、転入してきて間もない時期にたずねているため、「わからない」が 4 割を占めているが、「現住宅に住み続けたい」は 3 割、「転居しても尼崎市にしたい」が 1 割あり、合わせて 4 割は引き続き市内での定住を希望している。

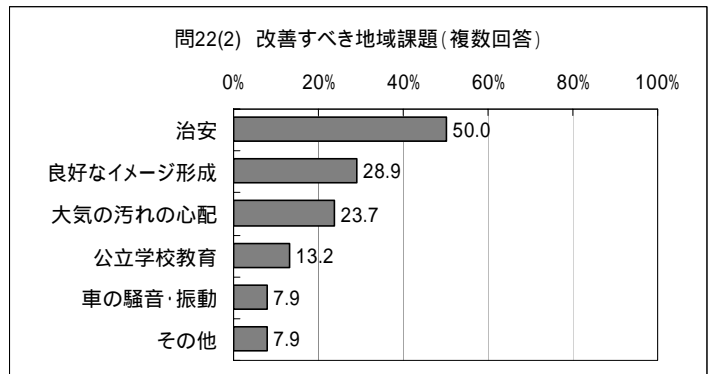
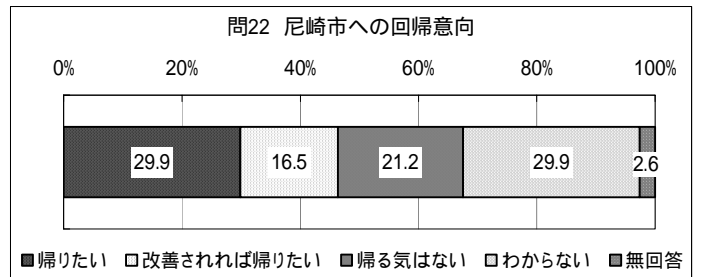
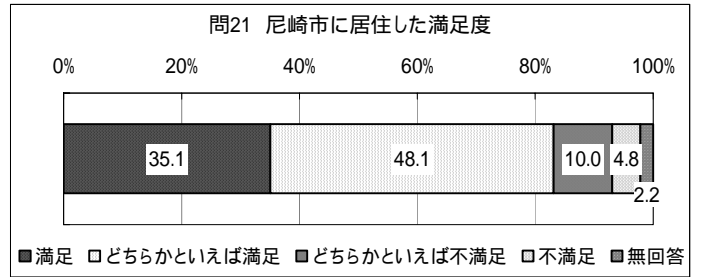


満足度・回帰意向（転出）

- 転出では8割強が市内居住に満足、回帰意向は5割弱

転出の8割強は今年までの尼崎市内での生活に満足しており、今後の回帰意向では、全体の5割弱が「帰りたい」あるいは「改善されれば帰りたい」と回答している。

「改善されれば」という条件について、その内容をたずねたところ、不満の内容と同様に「治安」が最も多く半数の人が挙げている。次いで「良好なイメージ形成」が約3割となっている。



## 今後の期待・尼崎の魅力

- 安全性の確保が最も期待されているが、商店街・市場のにぎわいづくりや徒歩や自転車での移動の容易な道路整備も期待が高い

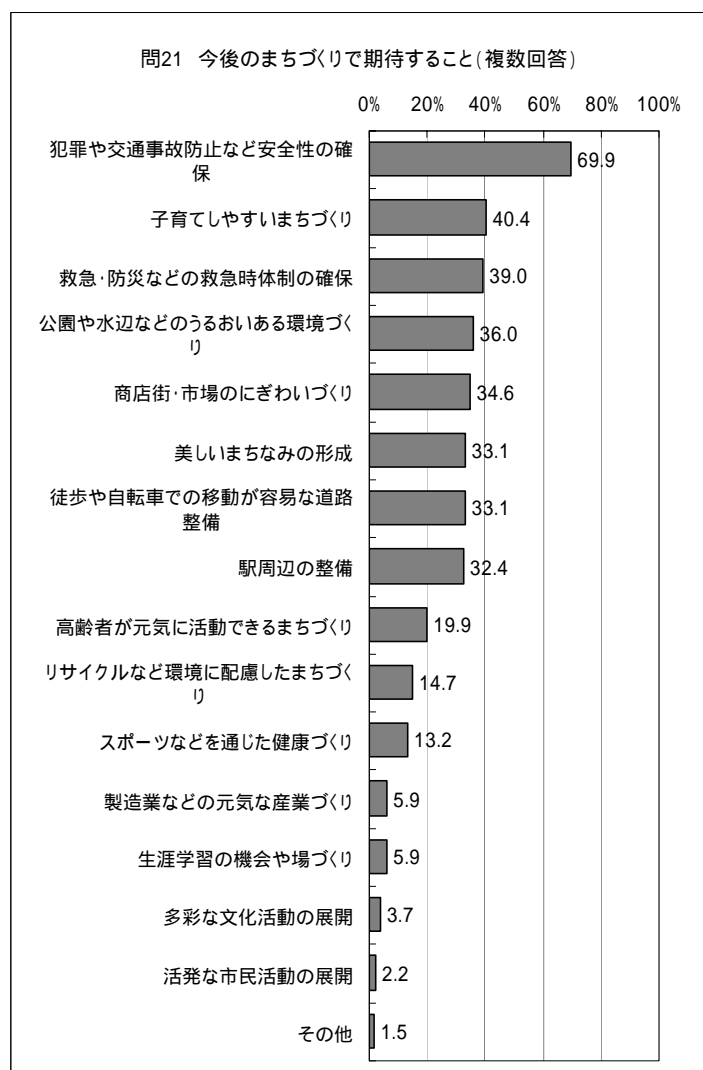
転入には「今後のまちづくりで期待すること」、転出には「尼崎市の魅力」として、選択肢に一部共通性を持たせてたずねた。

転入では、「安全性の確保」が70%で最も高い期待があり、次いで「子育てしやすいまちづくり」が40%、「救急時体制の確保」が39%、「公園等の整備」が36%、「商店街・市場のにぎわいづくり」が35%、「美しい街並み」及び「徒歩や自転車での移動の容易な道路整備」が33%、「駅周辺の整備」が32%と続いている。

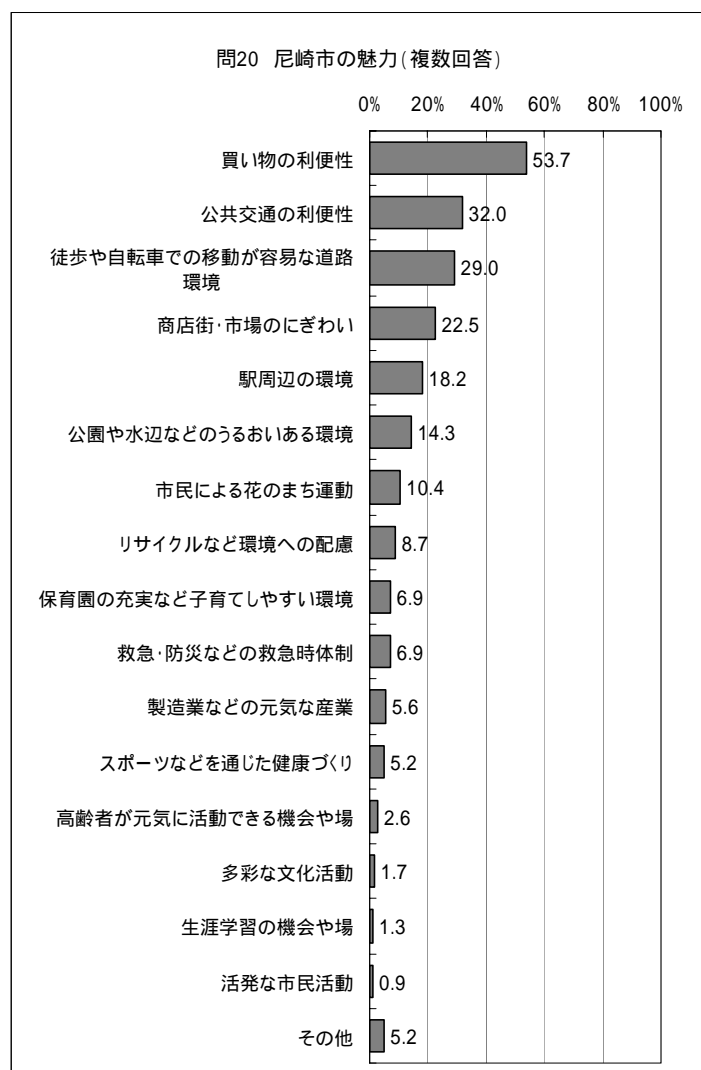
転出では、「買い物の利便性」や「公共交通の利便性」が高く、それぞれ54%、32%となっているほか、「徒歩や自転車での移動が容易な道路環境」が29%、「商店街・市場のにぎわい」が23%、「駅周辺の環境」が18%となっている。

魅力と評価され、かつ今後も期待されている項目は「徒歩や自転車での移動が容易な道路環境」や「商店街・市場のにぎわいづくり」「駅周辺の環境」が挙げられる。一方で、「子育てしやすいまちづくり」や「救急時体制」については期待が高いのに魅力としての評価が低くなっている。

### <転入者アンケート>



### <転出者アンケート>



転入者アンケート調査票



．あなたご自身（世帯主の方）のことやご家族のことについておたずねします

問 1 あなたの性別について

1 . 男

2 . 女

問 2 あなたの年齢について

1 . 10 代

2 . 20 代

3 . 30 代

4 . 40 代

5 . 50 代

6 . 60 代

7 . 70 代以上

問 3 転居前後の家族構成について（転居前、転居後それぞれ 1 つに 印）

転居前	1 . 一人世帯 2 . 夫婦のみ	3 . 夫婦と子ども 4 . ひとり親と子ども	5 . 夫婦と親と子 6 . その他
転居後	1 . 一人世帯 2 . 夫婦のみ	3 . 夫婦と子ども 4 . ひとり親と子ども	5 . 夫婦と親と子 6 . その他

問 4 お子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号すべてに 印）

1 . 就学前

3 . 中学校

5 . 大学・高専・専門学校

7 . その他

2 . 小学校

4 . 高等学校

6 . 社会人・アルバイト等

問 5 平成 16 年 1 年間（1～12 月）の世帯全員の収入（税込み額）はいくらですか。（1 つに 印）

1 . 100 万円未満

4 . 300～400 万円未満

7 . 800～1,000 万円未満

2 . 100～200 万円未満

5 . 400～600 万円未満

8 . 1,000～2,000 万円未満

3 . 200～300 万円未満

6 . 600～800 万円未満

9 . 2,000 万円以上

問 6 転居前後の住所について（前住所、現住所それぞれ の中に記入）

前住所	<input type="text"/>	都道府県	<input type="text"/>	市町村	
現住所	尼崎市	<input type="text"/>	町	<input type="text"/>	丁目

問 7 あなたがお仕事されている場合、勤務先（転居後）はどこですか。（ の中に記入）

勤務先	<input type="text"/>	都道府県	<input type="text"/>	市町村
-----	----------------------	------	----------------------	-----

問 8 これまで尼崎市にお住まいの経験はありますか。（1 つに 印）

1 . ある

2 . ない

問 9 転入前に、現在お住まいの地域について、十分な生活情報（市内の交通の便や買い物施設、医療施設、文化施設や公園など）をお持ちでしたか。（1 つに 印）

1 . よく知っていた

3 . あまり知らなかった

2 . ある程度知っていた

4 . ほとんど知らなかった

・転居前後の住宅についておたずねします

問 10 転居前後の住宅の所有関係について（転居前、転居後それぞれ1つに 印）

転居前	1. 持家（1戸建）	7. 公営の借家（市営・県営住宅、公団住宅等）
	2. 持家（マンション等）	8. 社宅
	3. 高齢者向けマンション	9. 独身寮
	4. 民間の借家（1戸建）	10. 親と同居
	5. 民間の借家（アパート・文化住宅）	11. その他
	6. 民間の借家（マンション等）	
転居後	1. 持家（1戸建）	7. 公営の借家（市営・県営住宅、公団住宅等）
	2. 持家（マンション等）	8. 社宅
	3. 高齢者向けマンション	9. 独身寮
	4. 民間の借家（1戸建）	10. 親と同居
	5. 民間の借家（アパート・文化住宅）	11. その他
	6. 民間の借家（マンション等）	

問 11 転居前後の「居住室」の畳数合計について（転居前、転居後それぞれ1つに 印）（独身寮及び間借り等の場合、記入はいりません）

転居前	1. 6畳未満	4. 18～24畳未満	7. 36畳以上
	2. 6～12畳未満	5. 24～30畳未満	
	3. 12～18畳未満	6. 30～36畳未満	
転居後	1. 6畳未満	4. 18～24畳未満	7. 36畳以上
	2. 6～12畳未満	5. 24～30畳未満	
	3. 12～18畳未満	6. 30～36畳未満	

ダイニングキッチンを含め、玄関・浴室・廊下等を含めません。また、畳をしいていない居住室は、3.3平方メートル（1坪）を2畳に換算して畳数に含めてください。

問 12～問 14 は、転居後の住宅についておたずねします。

問 12 転居先で住宅を購入された場合、その住宅は新築物件ですか、中古物件ですか。（1つに 印）

1. 新築	2. 中古（築 約 年）
-------	--------------

問 13 転居先で住宅（敷地を含む）を購入された場合、購入価格はいくらですか。（1つに 印）

1. 1,000万円未満	4. 3,000～4,000万円未満	7. 6,000～7,000万円未満
2. 1,000～2,000万円未満	5. 4,000～5,000万円未満	8. 7,000～8,000万円未満
3. 2,000～3,000万円未満	6. 5,000～6,000万円未満	9. 8,000万円以上

問 14 転居先で借家にお住まいの場合、月額家賃（共益費を含む）はいくらですか。（1つに 印）

1. 1万円未満	4. 5～7万円未満	7. 12万円以上
2. 1～3万円未満	5. 7～9万円未満	
3. 3～5万円未満	6. 9～12万円未満	



・転居の理由についておたずねします

問 15 現在の住まいを決めるにあたって、どなたの意見が一番優先されましたか。(1つに 印)

1. 世帯主	3. 世帯主と配偶者	5. 親
2. 配偶者	4. 子ども	6. その他

問 16 転居することになった最も大きなきっかけは何ですか。(1つに 印)

1. 就職のため	7. 結婚のため
2. 転職のため	8. 離婚のため
3. 転勤のため	9. 両親や子どもの近くに住むため
4. 退職のため	10. 家族から独立するため
5. 子どもの進学の都合で	11. 周囲の環境の理由で
6. 住宅の理由で	12. その他( )

問 17 転居するにあたって、尼崎市以外の地域でも住まいを探されましたか。(1つに 印)

1. 他市も探したが、尼崎市に決めた
2. 最初から尼崎市に住もうと考えていたので、他市は探さなかった
3. 尼崎市にしか住む余地がなかった(会社の寮や社宅が尼崎市内だった、同居を始める家族の住宅が尼崎市内にあった など) 問 20 にお進みください。

問 17 で「1」または「2」を回答の方は、問 18・問 19 もお答えください。

問 18 現在の尼崎市の住まいを決めるにあたって、どの地域と比較されましたか。(あてはまる番号すべてに 印)

1. 西宮市	6. 三田市	11. 大阪府南部
2. 芦屋市	7. 神戸市	12. 大阪府東部
3. 伊丹市	8. 兵庫県内その他地域	13. 京都市
4. 宝塚市	9. 大阪市	14. その他
5. 川西市・猪名川町	10. 大阪府北部	

問 19 転居先として、現在お住まいの地域を選んだ理由として次のどれが当てはまりますか。(あてはまる番号すべてに 印)

1. 静かな居住環境だから	10. 就学前の子育て支援が充実しているから
2. 公園・緑地が多いから	11. 高齢者福祉が充実しているから
3. 公共交通の利便性が高いから	12. 交通安全の面で安心だから
4. 坂が無く、徒歩や自転車で移動しやすいから	13. 街並みが美しいから
5. 支所などの公共施設が近いから	14. 尼崎市の住宅支援制度があるから
6. 医療施設が近いから	15. 友人・知人がいるから
7. 買い物が便利だから	16. 親や子どもの家に近かったから
8. 治安が良く、安全だから	17. その他( )
9. 公立学校教育が良いから(あてはまる学校に 印 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校)	

問 20 今後も尼崎市に住み続けたいと思われませんか。(1つに 印)

1. 現在の住宅にこれからも住み続けたい	具体的にお書きください。
2. 転居するかもしれないが、その時も尼崎市にしたい	
3. 将来は市外に引っ越したい	
4. わからない	

なぜですか

問 21 本市のまちづくりに対して、どんなことを期待しますか。(主なもの5つまでに 印)

1. 多彩な文化活動の展開	9. 子育てしやすいまちづくり
2. 美しいまちなみの形成	10. 救急・防災などの救急時体制の確保
3. スポーツなどを通じた健康づくり	11. 犯罪や交通事故防止など安全性の確保
4. 製造業などの元気な産業づくり	12. 生涯学習の機会や場づくり
5. 商店街・市場のにぎわいづくり	13. 活発な市民活動の展開
6. リサイクルなど環境に配慮したまちづくり	14. 駅周辺の整備
7. 公園や水辺などのうるおいある環境づくり	15. 徒歩や自転車での移動が容易な道路整備
8. 高齢者が元気に活動できるまちづくり	16. その他( )

### グループインタビューご協力へのお願い

本市では、転入者の方のご意見をさらに詳細にお聞きし、市政に反映させていきたいと考えております。

具体的には、今秋、複数の方に集まっていただくグループインタビューを予定していますが、**ご協力が可能な方のみ**連絡先をご記入ください。

インタビュー調査を実施する前に、ご連絡させていただきます。(ご記入いただいたすべての方を対象とするものではありませんので、あらかじめご了承ください。なお、ご協力いただいた方には、「尼崎の名産品詰め合わせセット」を差し上げます。)

お名前	
ご住所	
電話番号	Eメール

ご記入いただいた内容は、グループインタビューにご協力いただく方の選考に使用する目的以外には、一切使用いたしません。

以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。

転出者アンケート調査票



．あなたご自身（世帯主の方）のことやご家族のことについておたずねします

問 1 あなたの性別について

1 . 男

2 . 女

問 2 あなたの年齢について

1 . 10 代

2 . 20 代

3 . 30 代

4 . 40 代

5 . 50 代

6 . 60 代

7 . 70 代以上

問 3 転居前後の家族構成について（転居前、転居後それぞれ 1 つに 印）

転居前	1 . 一人世帯	3 . 夫婦と子ども	5 . 夫婦と親と子
	2 . 夫婦のみ	4 . ひとり親と子ども	6 . その他
転居後	1 . 一人世帯	3 . 夫婦と子ども	5 . 夫婦と親と子
	2 . 夫婦のみ	4 . ひとり親と子ども	6 . その他

問 4 お子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか。（あてはまる番号すべてに 印）

1 . 就学前	3 . 中学校	5 . 大学・高専・専門学校	7 . その他
2 . 小学校	4 . 高等学校	6 . 社会人・アルバイト等	

問 5 平成 17 年 1 年間（1～12 月）の世帯全員の収入（税込み額）はいくらですか。（1 つに 印）

1 . 100 万円未満	4 . 300～400 万円未満	7 . 800～1,000 万円未満
2 . 100～200 万円未満	5 . 400～600 万円未満	8 . 1,000～2,000 万円未満
3 . 200～300 万円未満	6 . 600～800 万円未満	9 . 2,000 万円以上

問 6 転居前後の住所について（前住所、現住所それぞれ の中に記入）

前住所	尼崎市	<input type="text"/>	町	<input type="text"/>	丁目
現住所		<input type="text"/>	都道府県	<input type="text"/>	市町村

問 7 尼崎市での居住年数について（1 つに 印、 通算の居住年数でご記入ください）

1 . 1 年未満	4 . 5 年以上 10 年未満	7 . 30 年以上 40 年未満
2 . 1 年以上 3 年未満	5 . 10 年以上 20 年未満	8 . 40 年以上 60 年未満
3 . 3 年以上 5 年未満	6 . 20 年以上 30 年未満	9 . 60 年以上

問 8 あなたがお仕事されている場合、勤務先（転居後）はどこですか。（ の中に記入）

勤務先	<input type="text"/>	都道府県	<input type="text"/>	市町村
-----	----------------------	------	----------------------	-----

・転居前後の住宅についておたずねします

問 9 転居前後の住宅の所有関係について（転居前、転居後それぞれ1つに 印）

転居前	1. 持家（1戸建） 2. 持家（マンション等） 3. 高齢者向けマンション 4. 民間の借家（1戸建） 5. 民間の借家（アパート・文化住宅） 6. 民間の借家（マンション等）	7. 公営の借家（市営・県営住宅、公団住宅等） 8. 社宅 9. 独身寮 10. 親と同居 11. その他
転居後	1. 持家（1戸建） 2. 持家（マンション等） 3. 高齢者向けマンション 4. 民間の借家（1戸建） 5. 民間の借家（アパート・文化住宅） 6. 民間の借家（マンション等）	7. 公営の借家（市営・県営住宅、公団住宅等） 8. 社宅 9. 独身寮 10. 親と同居 11. その他

問 10 転居前後の「居住室」の畳数合計について（転居前、転居後それぞれ1つに 印）（独身寮及び間借り等の場合、記入はいりません）

転居前	1. 6畳未満 2. 6～12畳未満 3. 12～18畳未満	4. 18～24畳未満 5. 24～30畳未満 6. 30～36畳未満	7. 36畳以上
転居後	1. 6畳未満 2. 6～12畳未満 3. 12～18畳未満	4. 18～24畳未満 5. 24～30畳未満 6. 30～36畳未満	7. 36畳以上

ダイニングキッチンを含め、玄関・浴室・廊下等は含めません。また、畳をしいていない居住室は、3.3平方メートル（1坪）を2畳に換算して畳数に含めてください。

問 11～問 14 は、**転居後**の住宅についておたずねします。

問 11 転居先で住宅を購入された場合、その住宅は新築ですか、中古ですか。（1つに 印）

1. 新築	2. 中古（築 約 年）
-------	--------------

問 12 転居先の自治体で家賃補助制度や利子補給制度を利用されましたか。（1つに 印）

1. 利用している（具体的内容	）	2. 利用していない
-----------------	---	------------

問 13 転居先で住宅（敷地を含む）を購入された場合、購入価格はいくらですか。（1つに 印）

1. 1,000万円未満	4. 3,000～4,000万円未満	7. 6,000～7,000万円未満
2. 1,000～2,000万円未満	5. 4,000～5,000万円未満	8. 7,000～8,000万円未満
3. 2,000～3,000万円未満	6. 5,000～6,000万円未満	9. 8,000万円以上

問 14 転居先で借家にお住まいの場合、月額家賃（共益費を含む）はいくらですか。（1つに 印）

1. 1万円未満	4. 5～7万円未満	7. 12万円以上
2. 1～3万円未満	5. 7～9万円未満	
3. 3～5万円未満	6. 9～12万円未満	

・転居の理由等についておたずねします

問 15 現在の住まいを決めるにあたって、どなたの意見が一番優先されましたか。(1つに 印)

- |        |            |        |
|--------|------------|--------|
| 1. 世帯主 | 3. 世帯主と配偶者 | 5. 親   |
| 2. 配偶者 | 4. 子ども     | 6. その他 |

問 16 転居することになった最も大きなきっかけは何ですか。(1つに 印)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 就職のため       | 7. 結婚のため          |
| 2. 転職のため       | 8. 離婚のため          |
| 3. 転勤のため       | 9. 両親や子どもの近くに住むため |
| 4. 退職のため       | 10. 家族から独立するため    |
| 5. 子どもの進学の手都合で | 11. 周囲の環境の理由で     |
| 6. 住宅の理由で      | 12. その他 ( )       |

問 17 転居するにあたって、尼崎市内でも住まいを探されましたか。(1つに 印)

- |   |
|---|
| 1. 尼崎市内も探したが、他市町村に決めた   |
| 2. 最初から他市町村に住もうと考えていたので、尼崎市内は探さなかった   |
| 3. 尼崎市に住む余地がなかった(勤務先が遠方に変わり通えなくなった、結婚で遠方に住むことになった、同居を始める家族の住宅が市外にあった など) 問 19 にお進みください。 |

問 17 で「1」または「2」を回答の方は、問 18 にお答えください。

問 18 現在の住まいを決めるにあたって、どの地域と比較されましたか。現在お住まいの地域も含めて、あてはまる番号に 印をつけてください。(あてはまる番号すべてに 印)

- |        |              |           |
|--------|--------------|-----------|
| 1. 尼崎市 | 6. 川西市・猪名川町  | 11. 大阪府北部 |
| 2. 西宮市 | 7. 三田市       | 12. 大阪府南部 |
| 3. 芦屋市 | 8. 神戸市       | 13. 大阪府東部 |
| 4. 伊丹市 | 9. 兵庫県内その他地域 | 14. 京都市   |
| 5. 宝塚市 | 10. 大阪市      | 15. その他   |

問 19 尼崎市に住んでご不満だった点として、次のどれが当てはまりますか。(あてはまる番号すべてに 印)

- |  |                   |
|--|-------------------|
| 1. 車の騒音・振動                                 | 10. 就学前の子育て支援     |
| 2. 飛行機の騒音                                  | 11. 高齢者福祉         |
| 3. 悪臭                                      | 12. 交通安全          |
| 4. 大気の汚れ                                   | 13. 治安            |
| 5. 公園・緑地の少なさ                               | 14. 街並み           |
| 6. 公共交通の不便さ                                | 15. 近所づきあいのわずらわしさ |
| 7. 買い物の不便さ                                 | 16. その他 ( )       |
| 8. 医療施設が近くにない                              |                   |
| 9. 公立学校教育(当てはまる学校に 印 1. 小学校 2. 中学校 3. 高校 ) |                   |

問 20 尼崎市に住んでみて、どの点に魅力をお感じになりましたか。(主なもの5つまでに 印)

1. 多彩な文化活動	10. 保育園の充実など子育てしやすい環境
2. 市民による花のまち運動	11. 救急・防災などの救急時体制
3. スポーツなどを通じた健康づくり	12. 公共交通の利便性
4. 製造業などの元気な産業	13. 生涯学習の機会や場
5. 商店街・市場のにぎわい	14. 活発な市民活動
6. 買い物の利便性	15. 駅周辺の環境
7. リサイクルなど環境への配慮	16. 徒歩や自転車での移動が容易な道路環境
8. 公園や水辺などのうるおいある環境	17. その他( )
9. 高齢者が元気に活動できる機会や場	

問 21 本市にお住まいになって、満足されましたか。(1つに 印)

1. 満足	3. どちらかといえば不満足
2. どちらかといえば満足	4. 不満足

問 22 もし、機会があれば、尼崎市にもう一度帰りたいと思われませんか。(1つに 印)

1. 帰りたい	→ 1. 治安 2. 大気の汚れの心配 3. 車の騒音・振動 4. 公立学校教育 5. 良好なイメージ形成 6. その他( )
2. 尼崎の地域課題が改善されれば帰りたい	
3. 帰る気はない	
4. わからない	

どんな課題ですか(主なもの2つまでに 印)

### グループインタビューご協力へのお願い

本市では、転出者の方のご意見をさらに詳細にお聞きし、市政に反映させていきたいと考えております。

具体的には、今秋、複数の方に集まっていただくグループインタビューを予定していますが、**ご協力が可能な方のみ**連絡先をご記入ください。

インタビュー調査を実施する前に、ご連絡させていただきます。(ご記入いただいたすべての方を対象とするものではありませんので、あらかじめご了承ください。なお、ご協力いただいた方には、「尼崎の名産品詰め合わせセット」を差し上げます。)

お名前	
ご住所	
電話番号	Eメール

ご記入いただいた内容は、グループインタビューにご協力いただく方の選考に使用する目的以外には、一切使用いたしません。

以上でおわりです。ご協力ありがとうございました。